

RAINBOW X1

赤と黒に徹底する。

ハーレーダビッドソンレインボー ☎0298-22-6666

赤と黒という至ってシンプルなか色使いなのに、これほどインパクトが強いのは、その2色だけを徹底して使い分けた潔さにある。X1の象徴的部分であるアルミのシートレールも、ボディと同色に塗装したことで、S1ともM2とも異なる、このマシンだけのオリジナリティを与えているのだ。オーナーの江橋拓也さんいわく、同じ黒でもイメージが少しで

も違う仕上がりだと塗り直したそう。それだけに、この仕上がりも納得。エンジンのヘッドも黒と赤で塗装するなど小技も結構効いている。



フォークも徹底して黒く塗装。ブレーキは珍しくPVM製キャリパーを装着。φ340mmローターも迫力



1/凝ったつくりのリアフェンダーはロードレーシング製。これも赤でペイントしたことで全体に統一感を醸し出している。2/オーナーもお気に入りというレインボー製のマフ



ラーは太めで迫力あるサウンドを奏でる。3/エンジンに関してもヘッド部分を黒と赤で塗り分けてレタリングを施すなど、完璧にアメリカ人的センスといえるだろう

YOYO M2

S1テールでビューエルらしさを強調。

ライダーランド・ヨーヨー ☎03-5392-3411

X1とバトンタッチする形で、'98年よりラインナップから姿を消したS1ライトニング。現在のビューエルが持つ「ストリート・ファイター」イメージを確立したこのモデルをモチーフにし、ヨーヨーが製作した一台が、こちらの'01年式M2である。RLY製S1WLルック・シートカウルで全体のフォルムをまとめあげた上、メインキールまでをタンク左下に移設。徹底して旧S1の雰囲気を追求されているマシンなのだ。



1/エキゾーストは迫力のフォルムと高い排気効率を両立するRLY製サイレンサーに換装。またステップはカスノ製が装着されている。2/スタイルの要となるS1WLルック・



シートカウルもRLY製。ペイントはドレスアウトの手によるものだ。3/タンクプラの装着で、マシン全体のイメージを引き締めることに成功。視覚的効果はかなり高い



XL1200C用パーツの装着で、クロームが眩い光を放つこのマシン。サンダンスFCRと組み合わせられたクリアキン製ハイパーチャージャーも、じつに巧くマッチしている

RAINBOW X1 RACER

街乗りしなくなる作りこみ。

ハーレーダビッドソンレインボー ☎0298-22-6666

レインボーのスタッフ、天田昭治さんはレース参戦に積極的だ。このX1のレーサーも'00年のもてぎ7時間耐久レースにエントリーするために製作されたもの。複雑なエキパイはエンジン横で集合しサイレンサーはテールカウルへと収まる。本来あるべきオイルタンクはエンジン下部に設置。シートレールもアルミで新造。等々、レーサーというにはカッコ良過ぎるこのX1。ストリート仕様も見えてみたい気がする……。



1/複雑な形状のエキゾーストパイプは絡み合うようにエンジン横で集合しテールカウル内のサイレンサーへと伸びる。2/ノーマルマフラーの位置にはワンオフのオイルタンクが収まる。その違和感のなさは、一瞬ノーマルマフラーかと思うほど。恐るべきつくりこみだ

HIGH SIDE S1

陽気なファイター仕様

プロショップハイサイド ☎072-361-8787



1/フロント足周りは、ビギニング特性をよくすることで有名なスクーデリアオクムラによるMEチューンが施される。また、APレーシング製6ポットキャリパーもスポーティな雰囲気だ。2/切削デザインが美しいバックステップは、ハイサイドのオリジナルパーツだ



オレンジをベースに流れるように青く波打つカスタムペイントが印象的なこの車両はハイサイドによってカスタムされたS1だ。フロントにAPレーシング製6ポットキャリパーとスクーデリアオクムラによるMEチューン、リヤにはハイサイド製サスペンションが組み込まれ、足周りに対してのコダワリを感じさせるマフラー、ステップなど随所にもハイサイドのオリジナルパーツが奢られた1台だ。

MOTO GARCON X1

小ワザを効かせて、もっとアメリカン。

モトギャルソン ☎0422-55-3800

リンガー製キャリパーもブルーアルマイトに統一し、色味に対してのオーナーの配慮がうかがえる。それだけに一見カスタムされたようには見えないが、じつはこたわりパーツが随所に奢られていて大人っぽい演出だ。アンダーカウルのステッカーチューンもいい感じだ。



1/青い焼き色が印象的なこのマフラーはカスノモーターサイクルのオリジナルチタンマフラー。アルミ素材のステップはハーレー用を流用しているという。2/キャップ、トレーナーともにアバークロンビー（やっぱりアメリカ生まれのブランド）を愛用する泉田徹さん

